

進めよう

新たな不登校を
生まない学校づくり

福岡 ACTION3!! アクション3



「福岡アクション3」は、県内全ての学校において、共通して実践すべき取組を明確化し、不登校対策の重要性について理解を深め、きめ細やかな取組の充実を図り、不登校の課題の解決を目指すものです。

福岡 ACTION3!! アクション3

を全ての学校で実践しましょう!

「福岡アクション3」は、不登校対策の「3つの視点」(新たな不登校を生まない、早期発見・早期対応、不登校児童生徒への支援)に基づき、多くの学校で実践されている取組を3つのステージに整理し、各ステージに「3つのアクション」を設定しています。また、これらのアクションは次に掲げる3つの特徴を備えています。



1 **すぐできる**
具体的で、即実行できる

2 **必ずできる**
負担感が少なく、誰でも必ずできる

3 **みんなのできる**
組織的・計画的・継続的にできる

福岡 ACTION3!! アクション3

を基に、すべての教職員で取り組みましょう!

不登校児童生徒への支援は、喫緊の教育課題であり、この課題の解決に向けて全力で取り組む必要があります。その際、不登校の児童生徒を含む全ての児童生徒に対して、すべての教職員で行う組織的な取組が有効です。

そこで、学校における取組を促進するために、「福岡アクション3」に基づき実践しましょう。

実態分析

1

不登校に関する自校の実態・課題を分析する。



共通理解

2

「福岡アクション3」について、全ての教職員で共通理解を図る。



合意形成

3

全ての教職員での合意形成の下、実践する。

- 目標・指標・取組を明確に!

共通実践

4

全ての教職員で実践する。

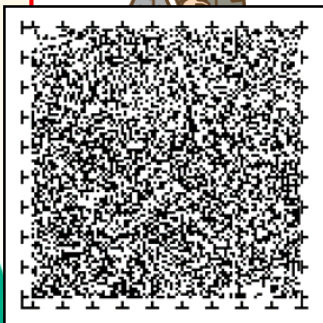
- ちょっとした打合せや情報共有を大切に実践しよう!
- 小さな成果を探そう!
- うまくいかない部分は修正も検討しよう!

評価・見直し

5

指標の達成度に基づき取組について評価し、必要に応じて見直しを行う。

- 自校独自の「○○学校アクション3」の策定を目指そう!



福岡県教育委員会

新たな不登校を 生まない学校づくり

福岡 ACTION3!!
アクション3

1 **すぐできる**
具体的で、即実行できる

2 **必ずできる**
負担感が少なく、誰でも
必ずできる

3 **みんなのできる**
組織的・計画的・継続的にできる

ステージ1

日常の支援のアクション

朝のアクション

- 児童生徒を笑顔で出迎え
- 顔を見ながら出席確認、言葉かけ

昼のアクション

- 児童生徒の褒めるところをたくさん探して
- チャンスを見つけて、言葉かけ

夕のアクション

- 教室を出るのは最後に
- 教室を出る際には環境を整えて
- 遅刻・早退・欠席者がいたら、連絡を忘れずに



ステージ2

早期発見・早期対応のアクション

1日目のアクション

- 欠席1日で様子をうかがう電話連絡を※
- 翌日の朝、笑顔で、言葉かけ

2日目のアクション

- 欠席2日で安心感を与える電話連絡を※
- 登校した際には、笑顔で、言葉かけ

3日目のアクション

- 欠席3日で家庭訪問し、保護者と話を
- 学年教員に報告、登校時には、みんなで見守り、チャンスで言葉かけ※



※児童生徒にとっては連絡が負担になることもあるため、日常から家庭と連携し本人の状況を把握しておくこと

ステージ3

きめ細やかで継続的な支援のアクション

分担のアクション

- 支援チームの編成、役割の明確化
- 不登校支援委員会等で情報の共有を
- 短期(1か月程度)目標と役割分担、当面の具体策の決定

共有のアクション

- 当該児童生徒の小さな変化を観察
- 継続的に、短時間の打ち合わせて情報共有

評価のアクション

- 「できないこと」より「できたこと」の評価を
- 教職員同士の声かけや励まし

